

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|-----------------|-----|-------|-------------------|---|
| 法人名 | 有限会社 相模テクノ | 代表者 | 堀沢 晴成 | 法人・ 事業所 の特徴 | ・高齢者の方々に対し感謝し、尊敬と敬意を持って介護させて頂く事を理念とし、利用者寄り添い利用者本位の支援をしている。法人は小規模ながら、居宅介護支援、訪問介護・看護から通所介護、GH、小規模多機能、サ高住等多機能なサービスがあり、利用者の状態・ニーズに対応したサービスを提供でき最後（看取り）まで対応している。 |
| 事業所名 | グループホーム あかつき | 管理者 | 堀沢 晴成 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
| | 0人 | 1人 | 4人 | 2人 | 4人 | 1人 | 0人 | 8人 | 人 | 20人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|-------------------------|---------|-------------------|---|---|
| A. 事業所自己評価の確認 | | | ・この制度は素晴らしいが、スタッフの理解度が異なり負荷が高いと思われるが、あきらめずに継続して行う必要がある。 | ・毎月1回の部会以外に第3火曜日に部会を開き、情報の共有等に努める。・モニタリングの項目に個々のニーズに対する対応と達成欄を追加して確認する。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | | | ・事業所は誰でも自由に出入りできる。家族も気軽に訪れている。 ・訪れた時はスタッフは何時も笑顔で気持ちよく迎えてくれる。 | ・バーベキュー場やゲーム場、売店等の地域への利用を促し、地域の方々を使いやすくする。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | | | ・地域の介護保険サポーターや町の保健室などとしての機能を果たしている。・知らない人がいないくらい地域に溶け込んでいる。 | ・地域の他の介護事業所と複数事業所研修を、年間計画として継続する。・地域の認知症介護の相談会を実施する。 |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | | | ・「地域の催しへの事業所の参加」と「事業所の催しへの地域の方々の参加」の双方が活発に行われている。 | ・自社の他の事業（互助ハウス等）と連携して、地域の方々との協働を図りながら、高齢になっても孤立せず、地域と係わって暮らせるよう支援する。 |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | | | ・地域の高齢者（心配な方等）を支える活動は多彩に行われているが、事例検討までは行われていない。 | ・地域の独居老人の支援として、運営推進会議のメンバーの協力を得て他の事業とも連携し、必要な事に取り組んで行く |
| F. 事業所の防災・災害対策 | | | ・地域との協力体制が構築され、事業所の災害時の優先事項も明確になっている。備蓄と共に非常用電源も設備され安心感が高い。 | ・東京消防庁「小規模福祉施設防災実務講習会」での知識を生かせるよう、受講者を2名増やす。 ・地域の防災訓練に参加する |